

国際医療福祉大学大学院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

大学院生募集

2016 GUIDEBOOK

先進的ケア・ネットワーク 開発研究分野

医療福祉学研究科

- 修士課程 医療福祉経営専攻
- 博士課程 保健医療学専攻

胃ろう者を
常食へ移行する
理論

院生多数
OB交流

実践家や教育研究者の
キャリアアップ

認定
ケアマネージャー
多数輩出

介護の専門職から
教育者の道

学生募集要項
は次のいずれ
かの方法でご
請求ください。



0120-36-5931

E-mail

nyushi@iuhw.ac.jp

HP

<http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

ごあいさつ



分野責任者

竹内 孝仁 教授

わが分野は広くケアとネットワークに関して「先進的な開発」を行っていかうという分野で、すでに「排泄自立」「要介護5の方の歩行」「認知症のケア」さらに「胃ろうから常食へ」などの研究から目ざましい成果をあげている分野です。ケアマネジメントを含め広くケア・介護に関する教育研究機関としてはもっともすぐれているといってよいでしょう。そして特徴的なことに、これらのすぐれた研究がいずれも院生自身の活動と研究から生み出されていることです。教員と院生が一体となって新しいものを創ることに大きな喜びがあります。

研究指導テーマ：介護およびケアマネジメントの実践および基礎に関するすべてのテーマ

【プロフィール】1966年：日本医科大学卒業。東京医科歯科大学医学部整形外科所属、整形外科およびリハビリテーション医学を研修。1978年：東京医科歯科大学整形外科講師。1991年：日本医科大学教授。2004年：国際医療福祉大学大学院教授。介護予防・自立支援パワーリハビリテーション研究会会長。日本自立支援介護学会学会長。日本ケアマネジメント学会理事。富山・在宅復帰をすすめる研究会会長。

保健医療福祉分野における次のような人材の育成を目指し、職種を問わず受け入れます

- (1) ケアの現場が抱える問題の改善に主体的に取り組める人
- (2) ケアの向上に向けてリーダーシップが取れる人
- (3) 広い視野を持ち、職種、立場の違いを超えてコミュニケーションがとれる人
- (4) ケアシステムの開発を担う人
- (5) ケアにかかわる教育を担う人

次のような方針で教育・研究指導に当たります

- (1) ケアの現場が抱える問題に即して教育・研究指導を行う。
- (2) 学生の自主性を尊重する。
- (3) さまざまな職種、立場の院生間の討議を通し、相互理解を促進する。
- (4) 医学、生活環境学、社会学等バックグラウンドの異なる教師陣が協力し、学際的な教育・研究指導を行う。

教員紹介



井上 善行 准教授

ソーシャルワーカー、ケアマネジャー等相談援助の現場経験を活かし、ケアマネジメントを中心とした介護・福祉に関する研究を行っています。みなさんと共に学び、研鑽を積んでいく、そんな教育・研究の場を提供したいと思います。

専門領域：ソーシャルワーク方法論（ケアマネジメント）、高齢者福祉、社会福祉哲学

1997年：東北大学文学部文学科卒業。1998年：日本社会事業学校研究科修了。2010年：国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科博士課程満了。博士（医療福祉学）。1998年～特別養護老人ホーム生活相談員、在宅介護支援センターソーシャルワーカー、居宅介護支援事業所ケアマネジャーを経て、2011年～現職。社会福祉士、介護支援専門員。



小平 めぐみ 講師

福田 啓造 非常勤講師

現場経験を活かし、介護福祉・高齢者福祉に関する研究をテーマとしています。介護福祉・ケアマネジメントについて、広くかつ深く学びたい方はどなたでも歓迎いたします。

専門領域：介護福祉、高齢者福祉、認知症、自立支援介護

国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科博士課程修了。博士（医療福祉学）。日本福祉大学福祉経営学部卒業。1997年～老人保健施設、特別養護老人ホーム等の介護士、居宅支援事業所の介護支援専門員を経て、2011年4月より現職。介護福祉士、介護支援専門員。

教員の略歴、担当科目、研究業績、連絡先等は、
大学院ホームページ (<http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>) をご参照ください。

受験資格

- (1) 大学卒 または
- (2) 保健、医療、福祉に関する国家資格や認定ケアマネジャーの資格を持ち、出願資格審査をパスした方
(※応募前に指導教員との事前面談が行われます)

■ 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野の教育内容等に関するご相談 Eメール：kodaira@iuhw.ac.jp (担当教員：小平 めぐみ)

カリキュラム (修士課程の専門科目)

専 門 科 目	単 位	標準履修年次			
		1年次		2年次	
2015年度開講科目名		前 期	後 期	前 期	後 期
介護福祉・ケアマネジメント学講義 [修士]	2	2			
ケアマネジメント論 [修士]	2	2			
高齢者介護学 [修士]	2		2		
ケア組織マネジメント論 [修士]	2		2		
介護福祉・ケアマネジメント学演習 [修士]	2			2	
ケア理論演習 [修士]	2		2		
介護福祉・ケアマネジメント学研究指導 [修士] I (研究計画作成)	2	2			
介護福祉・ケアマネジメント学研究指導 [修士] II (データ収集)	2		2		
介護福祉・ケアマネジメント学研究指導 [修士] III (データ分析)	2			2	
介護福祉・ケアマネジメント学研究指導 [修士] IV (論文作成)	2				2

ケアマネジメント力
を鍛える

先進的介護
の開拓

理論に基づく
介護の実践

自立支援介護
の展開

修了生の声

Q 仕事をしながらの通学はどうでしたか？

鈴木: 私は、竹内先生の介護力向上講習会を受講し、その中で先生の理論に感銘を受け、学びたい、専門性を高めたいという思いで、入学しました。仕事をしながらの通学は、正直大変な時もありましたが、何よりも新たな知識をたくさん学べる嬉しさ、同じ思いを持つ先輩や仲間との出会いが、本当にいい刺激になりました。

齊藤: 北海道からの通学、修士課程の1年目が一番大変でした。職場の理解がないと毎週休んで通学することは難しい。インターネットでの受講も大変助かった。仕事をしながらの通学は確かに大変だが、仕事をしているから学べるものがあるし、頑張れた。



博士課程修了
齊藤真樹さん
地域包括支援センター勤務



修士課程修了
鈴木嵩彦さん
介護施設勤務

Q 通ってみての大学院（竹内ゼミ）の印象は？

鈴木: 竹内ゼミは本当にあたかひ!!縦横関係ないつながりの強さ、本当にたくさん支えられました。こんないいゼミはない!一生のつながりが芽生える所だと思います。

齊藤: 様々な人が全国から集まっている。それによって実践している人の熱意や情熱を受け取れる。竹内先生の生徒に対する教育の愛をものすごく感じる。それが頑張れる原動力となる。

Q 自分の気持ちに変化がありましたか？

鈴木: 理論立てて物事を考える大切さ、あきらめない気持ち、壁と向き合う気持ちが芽生えた。

齊藤: 物事の深さ、考えること。人の意見をきいて自分の考えを持つことを体験し自分の考えが深まっていくことを実感できた。

Q 今後の目標は？

鈴木: 学んだことを職場に生かし、行動していきたい!また博士課程に進みたいと考えています。

齊藤: ひとつのこと(自分の研究テーマ)をもち、“なぜ?”という視点をもって、極めていくこと。それを研究という方法で解決に近づけた。そういうことを現場で実現しながら、全国のまだ会えていない介護の仲間発信していきたい。

Q ぜひ後輩（入学希望者）に伝えたいことは？

鈴木: 介護は3Kといわれ、まだまだこの仕事の価値は上がっていないことが現状であると思います。それを変えたいと感じている人はたくさんいると思います。一歩を踏み出すことで、介護を変える力を身につけることができると思います。きっとあなたの専門性を高めてくれるに違いありません!!

齊藤: “考える”という思考プロセスの楽しさをぜひ体験して欲しい。自分の領域での本質や言葉そのものの本質を語れる仲間。博士課程になるともっと次元が上がる。理論に基づいた実践がここにある。それが実感できる所である。



修士課程修了・博士課程在籍中

植田裕太郎さん

(資 格) 介護福祉士、社会福祉士 (勤務先) 特別養護老人ホーム

私は、社会人5年目に大学院に入学しました。

入学当初は仕事と学業の両立に関してとても不安に思っていました。

しかし、多くの授業が主に平日の夜と土曜日に集中しており、eラーニングにより自宅で受講できる科目もあり、自分のペースで学習ができるというシステムも、仕事と学業を両立する上でとても助けられました。

そして何と言っても心強いのは研究指導員をはじめとする先生方です。いつでもメールなどで連絡がとれ、親身になりご指導頂けます。授業はもちろん、論文への取り組み方などもていねいにご指導いただけることが私自身もがんばれる理由です。

国際医療福祉大学大学院

保健・医療・福祉専門職のキャリアアップを支援

「働きながら大学院で学びたい」社会人が学びやすい3つの特長

1 キャンパス

「働きながら大学院で学びたい」。こうした医療・福祉専門職の方々のニーズに応えるため、本大学院は、大田原（栃木県）、青山（東京都）、小田原（神奈川県）、熱海（静岡県）、福岡・大川（福岡県）に6つのキャンパスを開設しています。

※分野により受講が限られるキャンパスがあります。

2 カリキュラム

多くの授業を平日の夕方以降と土曜日の昼間に行い、社会人が学びやすい環境を整備しています。※専攻、分野により異なります。

3 同時双方向遠隔授業

キャンパスを同時双方向遠隔授業システムで結び、複数のキャンパスで授業をリアルタイムで受講できるようにしています。このシステムはテレビ会議方式を授業に取り入れたもので、テレビカメラによる映像や音声、書画カメラの映像、パソコンのファイル情報などが、各キャンパスでリアルタイムに共有できます。これにより、どのキャンパスでも授業が行われている教室と同じ状態で授業を受けることができ、質問やディスカッションなど同時双方向のコミュニケーションも可能です。



大学院 医療福祉学研究科

修士課程

保健医療学専攻

- 看護学分野
- ナースプラクティショナー養成分野
- 助産学分野
- 理学療法学分野
- 作業療法学分野
- 言語聴覚分野
- 視機能療法学分野
- 福祉支援工学分野
- リハビリテーション学分野
- 放射線・情報科学分野
- 生殖補助医療胚培養分野
- 医療福祉教育・管理分野

医療福祉経営専攻

- 医療福祉経営学分野
- 診療情報管理・分析学分野
- 医療福祉国際協力学分野
- 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
- 医療福祉学分野
- 医療福祉ジャーナリズム分野

臨床心理学専攻

博士課程

保健医療学専攻

- 看護学分野
- 助産学分野
- 理学療法学分野
- 作業療法学分野
- 言語聴覚分野
- 視機能療法学分野
- 福祉支援工学分野
- リハビリテーション学分野
- 放射線・情報科学分野
- 生殖補助医療胚培養分野
- 医療福祉経営学分野
- 診療情報管理・分析学分野
- 医療福祉国際協力学分野
- 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
- 医療福祉学分野
- 医療福祉ジャーナリズム分野
- 医療福祉心理学分野

大学院 薬学研究科

博士課程（4年制）

医療・生命薬学専攻

大学院 薬科学研究科

修士課程

生命薬科学専攻

- 生命薬学分野
- 医療薬学分野

入試に関するご相談

国際医療福祉大学
大田原キャンパス 入試課

TEL : 0287-24-3200
Eメール : nyushi@iuhw.ac.jp
〒324-8501 栃木県大田原市北金丸 2600-1



大田原キャンパス

※修士課程は、専門学校等を卒業した満22歳以上の方も出願可能です(国家資格保持等の条件を満たしている必要があります)。

大学院に関するお問い合わせ

国際医療福祉大学 大学院
東京青山キャンパス

TEL : 03-6406-8621 FAX : 03-6406-8622
〒107-0062 東京都港区南青山 1-3-3
青山一丁目タワー 4・5階



東京青山キャンパス

学生募集要項は次のいずれかの方法でご請求ください

0120-36-5931 E-mail nyushi@iuhw.ac.jp HP <http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

国際医療福祉大学

HP <http://www.iuhw.ac.jp/>

- 薬学部：薬学科（6年制） ■医療福祉学部：医療福祉・マネジメント学科
- 保健医療学部：看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科、放射線・情報科学科
- 成田看護学部（成田キャンパス）※：看護学科
- 成田保健医療学部（成田キャンパス）※：理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医学検査学科
- 小田原保健医療学部（小田原キャンパス）：看護学科、理学療法学科、作業療法学科
- 福岡看護学部（福岡キャンパス）：看護学科
- 福岡保健医療学部（大川キャンパス）：理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医学検査学科

附属病院

※2016年4月開設予定（設置認可申請中）

- 国際医療福祉大学病院（栃木県） ■国際医療福祉大学塩谷病院（栃木県） ■国際医療福祉大学三田病院（東京都）
- 国際医療福祉大学熱海病院（静岡県）